

平成27年12月 7日

午前・午後 9時00分

項目ごと ・ 一括

平成27年12月 7日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 安藤忠司

## 一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

### 記

項目	要 旨 ( 内 容 )
修学資金貸付事業の 拡大	<p>浦幌町の修学資金貸付事業は、医師・歯科医師、保健師を学校又は養成所に在学する者で、将来町内の医療施設等において医療業務に従事しようとする者に対し貸付することを目的としています。</p> <p>現在、浦幌町は高齢化が進み、また、人口減少が加速しており、若い方が町外に流出しております。</p> <p>また、介護サービス事業所等で退職する職員がしばしばいるため、介護職員・看護師職員の募集をしておりますが、今月の町広報にも介護職員等の求人情報が出ていますが、なかなか応募がない状況で、介護職員の確保に大変苦勞しているようです。今後少子化が進む中で、ますます労働人口も減少してくると思われます。</p> <p>そこで、介護士・看護師等の学校や養成所を終了した方に、浦幌町で就職してもらい人口の流失の歯止めとなるよう、修学資金貸付事業の拡大をする考えはないか伺います。</p>

平成27年12月 8日  
午前・午後10時 5分

項目ごと ・ 一括

平成27年12月 8日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 差間正樹

## 一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

### 記

項目	要 旨 ( 内 容 )
町民憲章にアイヌの記述を	<p>幕末期以降、明治時代に入ってもですが、日本が対外国の関係で国境を確定していった経過の中で、諸外国では対外的な問題と対国内、当該地、資源他、諸々の問題に関して話し合いをしたり、彼らとの間で条約をも結んだりしていたようです。</p> <p>ところが、日本政府はこの自国内先住民の問題は、特に権利の部分は全く棚上げにし、日本では全く抜け落ちております。一度の条約もアイヌとの間で結ぶこともなく、なし崩しに、雪崩のように開拓民が北海道各地に入ってきました。故萱野茂エカシが「私たちは土地を売った覚えも、貸した覚えもない。」といった言葉を残しておりますが、それは、この部分についてであります。これは決して過去の問題ではありません。当然なされるべきことがいまだになされていない、まさに現在に残されている問題であります。</p> <p>私はこの問題を考えるためにも、町民の中に「もうアイヌ民族はいない」だとか「アイヌ民族に土地を与えたのだ」とか「それは過去の問題で、未来志向でいきましょう」とか、そういった間違った理解が進まな</p>

いよう、浦幌町民憲章にアイヌモシリのこと、アイヌ民族のことをはっきりと記述する考えはないか。

平成27年12月 8日  
午前・午後10時15分

項目ごと・一括

平成27年12月 8日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 河内富喜

## 一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

### 記

項目	要 旨 ( 内 容 )
スマホ・ネット依存による学力低下	<p>文部科学省が2014年8月25日に発表した全国学力テストとあわせて行う児童生徒への全国アンケート調査結果によると、今回初めてスマホなどの平日の使用時間を尋ね、生活のかなりの時間を割いている実態が浮き彫りになり社会問題化していることが明らかになった。</p> <p>総務省情報通信政策研究所や一般社団法人全国教育問題協議会などがアンケート調査を分析し現状を厳しく指摘をしている。</p> <p>中学3年生の半数近くが1日1時間以上携帯電話やスマホでメールやネットをし、4時間以上費やす生徒が1割を超えているとのこと。小学6年生の半数以上が携帯やスマホを使用していることも判明した。</p> <p>学力テストの平均正答率と比較すると、小中全教科で、使用時間が増えるほど成績が低下する「スマホ・ネット依存による学力低下現象」傾向が明らかになっている。ネット依存症が進み心療内科や児童精神科の治療が必要となる児童もいるようである。</p> <p>これはあくまでも文部科学省の全国アンケート調査</p>

結果等を分析したのですが、当然地域によってそれぞれ違いがあると思います。

この問題に対する我が町の現況認識と対応策について確認をしたいと思います。

- 1 「スマホ・ネット依存による学力低下現象」傾向について、我が町では現状をどのように認識しているか。
- 2 文部科学省から学習指導要領の内容を踏まえた情報モラル教育の必要性について通知がきていると思うが、どのように生かしているのか。
- 3 稚内市校長会では、学力向上に伴うプロジェクト会議を立ち上げ、スマホなどの現状認識と対応策について協議が行われているが、我が町では具体的な対応策を何か考えているのか。

平成27年12月 8日  
午前・午後11時35分

項目ごと ・ 一括

平成27年12月 8日

浦幌町議会議長 田村寛邦様

浦幌町議会議員 福原仁子

## 一般質問通告書

浦幌町議会会議規則第61条第2項の規定により、次のように通告します。

記

項目	要 旨 ( 内 容 )
浦幌町の将来展望 「まち・ひと・しごと」	<p>今年9月に浦幌町「人口ビジョン」が策定された。これは、国と地方が総力をあげて、地方創生・人口減少克服に取り組み「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の基本的方向や具体的な施策をまとめ、今後、浦幌町の目指す方向を示すとあります。</p> <p>そこで浦幌町の将来展望に関して、次のことについて伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 子どもを産み育てる環境の充実とあるが、妊娠出産に伴う身近な場所での検診が実施できる体制についての考えはあるか。</li><li>2 雇用機会の新規創出について、農畜産物や水産物の加工場の新設に対し補助制度の創設を行い、多岐にわたる雇用の場を設ける考えはないか。</li></ol>